

【昭和三十（一九五五）年、第八回国勢調査は、六四一世帯三七九八人。】

高度成長期以降

都市への人口流失・少子化

昭和三十年代半ばから始まった経済の高度成長は、重化学工業を繁栄させ、人々の生活水準は向上しましたが、農村から都市への大量の人口流出をもたらした。農村社会の過疎化、高齢化の原因となりました。

近年では女性の社会進出、経済の低迷などによる少子・高齢化が進んでいます。

【昭和四十（一九六五）年、第十回国勢調査は、六九八世帯三四〇九人。】

本村では、野菜作りの先駆者の努力のもとに、昭和四十一（一九六六）年、そ菜園芸技術研究会が結成され、昭和

四十五（一九七〇）年から第二次農業構造改善事業を導入し、野菜の近代的施設園芸団地が形成されました。

【昭和五十（一九七五）年、第十二回国勢調査は、七〇六世帯、二五九七人。】

その後も村では、昭和五十八（一九八三）年、前年の温泉ボーリングの成功による、洞爺村いこいの家開設、平成元（一九八九）年から平成九（一九九七）年のとうや湖ぐるつと彫刻公園五十八基の整備昭和六十二（一九八七）年から平成九（一九九七）年の国営大原地区かんがい排水事業など、広域的な視野に立った事業を行いました。

【平成七（一九九五）年、第十六回国勢調査は、七一七世帯二二六九人。】

また、近年平成五（一九九三）年から国際彫刻ビエンナーレを始め、世界中から優秀

な彫刻を集め世界の芸術文化を発信する事業を隔年で展開するなど、ユニークな事業も展開し、今日に至っています。

